



(計 2 枚)

2006 年 7 月 6 日

内閣総理大臣
小泉純一郎様
外務省審議官 G8 シェルパご担当
藪中三十二様

教育協力 NGO ネットワーク
代表 片山 信彦

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

私たち「教育協力 NGO ネットワーク」は、国際教育協力分野で活動している日本の 25 の NGO で構成されております。本日は、「万人のための教育 (EFA: Education for All)」の達成に向けた取り組みについて先進国首脳にご提案したく、今年の G8 サミット前にこのお手紙をお送りする次第です。

先進国は昨年の G8 最終コミュニケにおいて確約した「良質で無償の義務的な初等教育」の保障を含む、開発についての諸問題に前向きに取り組むべきであると考えております。

教育分野は、この重要な目標の達成に向けて時間が限られていることから特に重要です。1 億を越す子ども達がいまだ学校に通っておらず、読み書きのできない成人が 8 億 8000 万人にのぼっています。すべての子どもが 2015 年までに良質で無償の教育を修了するという「ミレニアム開発目標 (MDG)」を達成させるためには、少なくとも 2009 年までにすべての子どもが小学校に入学しておく必要があります。現在 90 カ国以上の国々においては初等教育が有償です。また、資格を持つ専門的な教員が適正な規模の生徒数のクラスで授業を行うためには、現在よりも 1800 万人多くの教員が必要になると推定されています。これらの衝撃的な数字は、「万人のための教育」を継続的に財政的に支援する責務を先進国が負っていることを明白に示しています。

私たちは、G8 において特に保健や教育分野における取り組みについての議論が行われる予定であることを認識しており、ロシア政府によりこれらの事項が議題に含まれたことを喜ばしく思っております。しかしながら私たちは、G8 諸国が昨年のサミットで約束した 2010

年までに 500 億ドルの追加的な援助を行うというコミットメントを再度確認しない限り、保健や教育分野において意義ある前進を確保することはできないと考えています。また、ODA 予算を国民総所得の 0.7 パーセントに増額する計画について合意に達していない G8 諸国は、ただちに合意すべきと考えます。

「万人のための教育 (EFA)」達成を可能にする政策について私たちは G8 諸国に以下の行動を求めます。

- 「万人のための教育 (EFA)」達成に向けた進捗状況を見直し、すべての国の子どもが 2015 年までに良質な初等教育を修了できるようにするために必要とされる基礎教育援助額である、年間 100 億ドルを先進諸国が分担して支援すべきです。
- 現在の「ファストトラックイニシアチブ (FTI)」対象国の不足資金額である 4 億 1500 万ドルをただちに支援し、さらに来年の野心的な計画である、40 カ国の低所得国が FTI 対象国となることを奨励するように、事前に 30 億ドルの支援のコミットメントを行うべきです。これによって、FTI は全世界で学校に通っていない子どもの 70 パーセント以上をカバーできるようになります。
- 学費の廃止や必要な教員の雇用に必要な通常経費を単年度ではなく一定の条件のもとで継続的に援助する必要があります。

私たちは G8 においてこれらの事項が議論されることを歓迎し、ミレニアム開発目標達成に向けた進捗をお聞きすることを楽しみにしております。もしも今回のサミットにおいて具体的な前進がみられないのであれば、G8 諸国は貧困削減において国際的な役割を主張することはできないと考えます。会議のご成功をお祈りしております。

敬具

連絡先

教育協力 NGO ネットワーク (JNNE) 事務局
(社) シャンティ国際ボランティア会 気付
事務局長 三宅隆史

〒160-0015 東京都新宿区大京町 31

Email : jne@sva.or.jp

電話 : 03-5360-1233、FAX : 03-5360-1220

写 : 外務省経済協力局開発計画課企画官 小野光子様
同上 民間援助支援室長 城守茂美様